# 平成22年度 財政状況資料集

### 総括表(市町村)

広島県 神石高原町 間調(人) 国調(人) 区(%) 31(人) 31(人) 31(人)	10, 350 11, 590 -10, 7 10, 852 11, 066 -1, 9 381, 81 27	市町村類型 地方交付税種類 区分 第1次 第2次 第3次	世 2-  産業構造  17年国調  2,062  32.8  1,596  25.3  2,609	1 12年国調 2,357 34.1 1,891 27.3	指定山体等 財政健全化等 財源超過 首都 中部 過疎 山振 低開発 指数表選定	× × × × × × × O O O × × O O O O O O O O	職人総額 歳出総額 歳入歳出差引 翌年度に縁越すべき財源 実質収支 単年度収収支 積立金 繰上億取削し額 実質単取収支 基準財政収入額	14, 814, 533 14, 263, 618 550, 915 52, 662 498, 253 86, 203 336, 858 390, 797 - 813, 858 1, 216, 096	11, 309, 131 461, 216 49, 166 412, 050 45, 525 3, 727 362, 387 – 411, 639	標準財政規模 財政力指数 公債費負担比率 健全化判断比率 実質赤字比率 連第实債費比率 将来負担比率	6. 6 79. 1 (85. 5) 7, 559, 314 0. 23 26. 9	5. 83. (89.1 7, 227, 34 0.2 29.
目調(人) 目調(人) 基(%) 31(人)	10, 350 11, 590 -10, 7 10, 852 11, 066 -1, 9 381, 81	区分 第1次 第2次	産業構造 17年国調 2,062 32.8 1,596 25.3	1 12年国調 2,357 34.1 1,891 27.3	財源超過 首都 近畿 中部 過速 山振 低開発	× × × × × × O O × ×	歳入歳出差引 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収支 積立金 繰上償還金 様立金取崩し額 実質単年度収支 基準財政収入額	550, 915 52, 662 498, 253 86, 203 336, 858 390, 797 - 813, 858 1, 216, 096	461, 216 49, 166 412, 050 45, 525 3, 727 362, 387	(※1) 標準財政規模 財政力指数 公債費負担比率 健全化判断比率 実質赤字比率 連转実質債費比率 将来負担比率	( 85.5 ) 7,559,314 0.23 26.9 - - 18.0	( 89. 7, 227, 3 0. 2 29.
目調(人) 目調(人) 基(%) 31(人)	10, 350 11, 590 -10, 7 10, 852 11, 066 -1, 9 381, 81	区分 第1次 第2次	産業構造 17年国調 2,062 32.8 1,596 25.3	1 12年国調 2,357 34.1 1,891 27.3	首都 近畿 中部 過疎 山振 低開発	× × × O O X	翌年度に繰越すべき財源 実質収支 特立金 繰上償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支 基準財政収入額	52, 662 498, 253 86, 203 336, 858 390, 797 813, 858	49, 166 412, 050 45, 525 3, 727 362, 387 - 411, 639	標準財政規模 財政力指数 公債費負担比率 健全化判断比率 実質赤字比率 連第实債費比率 将来負担比率	7, 559, 314 0. 23 26. 9 - - 18. 0	7, <u>2</u> 27, 34 0. 2 29.
目調(人) 目調(人) 基(%) 31(人)	10, 350 11, 590 -10, 7 10, 852 11, 066 -1, 9 381, 81	区分 第1次 第2次	産業構造 17年国調 2,062 32.8 1,596 25.3	12年国調 2,357 34.1 1,891 27.3	中部 過疎 山振 低開発	× × O O X	実質収支 単年度収支 積立金 繰上償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支 基準財政収入額	498, 253 86, 203 336, 858 390, 797 - 813, 858 1, 216, 096	412, 050 45, 525 3, 727 362, 387 - 411, 639	財政力指数 公債費負担比率 僱全化判断比率 実質赤字比率 連結实質赤字比率 実有。 等等 等等 等等 等等 等等 等等 等等 等等 等等 等等 等等 等等 等等	0. 23 26. 9 - - 18. 0	0. 2 29.
国調 (人) 圣 (%) . 31 (人)	11, 590 -10. 7 10, 852 11, 066 -1. 9 381. 81	第1次 第2次	17年国調 2,062 32.8 1,596 25.3	12年国調 2,357 34.1 1,891 27.3	中部 過疎 山振 低開発	X O O X	単年度収支 積立金 機上償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支 基準財政収入額	86, 203 336, 858 390, 797 - 813, 858 1, 216, 096	45, 525 3, 727 362, 387 - 411, 639	公债費負担比率 健全化判断比率 実質赤字比率 連转公債費比率 将来負担比率	26. 9 - - 18. 0	29.
国調 (人) 圣 (%) . 31 (人)	11, 590 -10. 7 10, 852 11, 066 -1. 9 381. 81	第1次 第2次	17年国調 2,062 32.8 1,596 25.3	2, 357 34. 1 1, 891 27. 3	過疎 山振 低開発	O ×	積立金 繰上優選金 積立金取崩し額 実質単年度収支 基準財政収入額	336, 858 390, 797 - 813, 858 1, 216, 096	3, 727 362, 387 - 411, 639	健全化判断比率 実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率	- - 18. 0	20.
E (%) . 31 (人) . 31 (人)	-10. 7 10, 852 11, 066 -1. 9 381. 81 27	第1次 第2次	2, 062 32. 8 1, 596 25. 3	2, 357 34. 1 1, 891 27. 3	山振 低開発	O ×	繰上償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支 基準財政収入額	390, 797 - 813, 858 1, 216, 096	362, 387 - 411, 639	実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率		
. 31 (人) . 31 (人)	10, 852 11, 066 -1. 9 381. 81 27	第1次 第2次	2, 062 32. 8 1, 596 25. 3	2, 357 34. 1 1, 891 27. 3	低開発	×	積立金取崩し額 実質単年度収支 基準財政収入額	813, 858 1, 216, 096	- 411, 639	連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率		
. 31(人)	11, 066 -1. 9 381. 81 27	第2次	32. 8 1, 596 25. 3	34. 1 1, 891 27. 3			実質単年度収支 基準財政収入額	1, 216, 096	,	実質公債費比率 将来負担比率		
	-1. 9 381. 81 27		1, 596 25. 3	1, 891 27. 3	用奴衣选足		基準財政収入額	1, 216, 096	,	将来負担比率		
(%)	381. 81 27		25. 3	27. 3					1, 234, 467		30. 0	09
	27	<b>生なる</b>							E 20E 200	次ムテロルカ ハツハ		
	21	44 2 V/r					基準財政需要額	5, 430, 944		資金不足比率(※3)		
		乗3次		2, 665			標準税収入額等	1, 496, 795	1, 550, 485			
	3, 753		41. 4	38. 5			経常経費充当一般財源等	6, 001, 113	6, 032, 823			
		職員の状況	ļ.				歲入一般財源等	9, 383, 919	8, 851, 391			
⊇数 1人あ	あたり平均		区分	職員数	給料月額	1人あたり平均						
給料月				(人)								
1	7, 420	一 一般聘	員	162	534, 276	3, 298		13, 244, 062				
1	6, 510	般うち	消防職員	-	-		- 債務負担行為額(支出予定額)	420, 152	368, 810			
-	-	職うち	技能労務職員	6	21, 048	3, 508	収益事業収入	-	-	-		
1	6, 060	員 教育公	務員	2	8, 134	4, 067	土地開発基金現在高	-	-	-		
1	3, 000	等 臨時職	員	-	-		財政調整基金	1, 649, 893	1, 103, 035	1		
1	2, 450	合計		164	542, 410	3, 307		265, 302	373, 488			
12	2, 250	ラスパ	パイレス指数			97. 1		1, 973, 374	1, 489, 948			
≧数	給 1 1 1 - 1 1		1人あたり平均 給料月額(百円) 1 7,420 1 6,510 般 前 6,060 1 3,000 1 2,450   本育公   佐藤剛 合計	1人あたり平均 給料月額(百円) 1 7,420 1 6,510 機職員 1 6,060 1 3,000 1 2,450 1 2,250   日本	1人あたり平均 給料月額(百円) 1 7,420 1 6,510 	1人あたり平均 給料月額(百円)   - 一般職員   534,276   162   534,276   163   162   534,276   163   163   163   163   163   163   163   163   163   163   163   163   163   164	1人あたり平均 給料月額(百円)   - 一般職員   554,276   3,298   3,508   55技能労務職員   6 21,048   3,508   4,067   1 2,450   12 2,250   12   2,250   1	1人あたり平均 給料月額(百円)   1 7,420   - 一般職員 162 534,276 3,298 うち公的資金   55消防職員 - 一 一 債務負担行為額(支出予定額)   1 6,510   55技能労務職員 6 21,048 3,508   枚本事業収入   数育公務員 2 8,134 4,067   土地開発基金現在高   財政調整基金 1 3,000   5 計防職員 一 債務負担行為額(支出予定額)   1 2,450   1 64   542,410 3,307   5 元パイレス指数   97.1   1 7.1   7	1人あたり平均 給料月額(百円)   1 7,420   - 一般職員 162 534,276 3,298   5 5 公的資金 13,244,062   5 5 消防職員 - 一 一 債務負担行為額 (支出予定額) 420,152   1 6,060   1 3,000   5 5 技能労務職員 6 21,048 3,508   収益事業収入 4067   2 8,134 4,067   2 8,	1人あたり平均 給料月額(百円)   1 7,420   - 一般職員 162 534,276 3,298   5 5公的資金 13,244,062 13,268,687   1 6,510   5 5消防職員 一優務負担行為額(支出予定額) 420,152 368,810   1 3,000   1 3,000   1 2,450   1 3,000   1 2,450   1 3,000   1 2,450   1 3,000   1 2,250   1 3,000   1 2,250   1 3,000   1 2,250   1 3,000   1 3	1人あたり平均 給料月額(百円)   1	1人あたり平均 給料月額(百円)   1 7,420   一般職員 162 534,276 3,293 55公的資金 13,244,062 13,268,687   14,675,105   15,244,062 13,268,687   16,6510   16,0510   17,0510   17,0510   17,0510   18,0510   1

坝田	
(1)	一般会計

(2) 分収育林事業特別会計

(3) 飲料水供給施設事業特別会計

会計名

会計名 (4) 国民健康保険特別会計(事業勘定)

(5) 国民健康保険特別会計(診療施設勘定)

公営企業(法適)の一覧 会計名

(10) 病院事業会計

項番

会計名

(11) 簡易水道事業特別会計

(12) 農業集落排水事業特別会計

(13) 総合開発事業特別会計

関係する一部事務組合等一覧 組合等名

(14) 後期高齢者医療広域連合(一般会計)

(15) 後期高齢者医療広域連合(特別会計)

(16) 広島県市町総合事務組合

(17) 福山地区消防組合

地方公社・第三セクター等一覧 団体名 項番

(※2)

(18) 油木特産販売

(19) 帝釈峡スコラ

(20) 神石高原直売公社

(21) 神石高原農業公社

(22) さんわ182ステーション

(8) 介護保険特別会計(保険事業勘定)

(6) 後期高齢者医療特別会計

(7) 老人保健特別会計

(9) 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

- ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。
- ※3: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

## (1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の						地方税の物	状況 (単位 千円・	%)	
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額		超過課税分
地方税	1, 014, 499	6.8	1, 014, 499		普通税		1, 014, 499	100.0	-
地方譲与税	270, 616	1.8	270, 616	3. 9	法定普通税		1, 014, 499	100. 0	-
利子割交付金	3, 480	0.0	3, 480	0.0	市町村民税		314, 262	31.0	-
配当割交付金	846	0.0	846	0.0	個人均等割		13, 231	1.3	-
株式等譲渡所得割交付金	461	0.0	461	0.0	所得割		254, 441	25. 1	-
地方消費税交付金	93, 754	0.6	93, 754	1.3	法人均等割		22, 873	2. 3	-
ゴルフ場利用税交付金	3, 096	0.0	3, 096	0.0	法人税割		23, 717	2. 3	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税		634, 074	62. 5	-
自動車取得税交付金	81, 519	0.6	81, 519	1. 2	うち純固定資産	税	630, 251	62. 1	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税		36, 468	3. 6	-
地方特例交付金	40, 761	0.3	40, 761	0.6	市町村たばこ税		29, 653	2. 9	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	10, 917	0.1	10, 917	0. 2	鉱産税		42	0.0	-
減収補塡特例交付金	29, 844	0. 2	29, 844	0.4	特別土地保有税		-	-	-
地方交付税	6, 104, 799	41.2	5, 494, 263	78. 3	法定外普通税		-	-	-
普通交付税	5, 494, 263	37. 1	5, 494, 263	78. 3	目的税		-	-	-
特別交付税	610, 536	4. 1	-	-	法定目的税		-	-	-
(一般財源計)	7, 613, 831	51.4	7, 003, 295	99.8	入湯税		-	-	-
交通安全対策特別交付金	4, 683	0.0	4, 683	0. 1	事業所税		-	-	-
分担金・負担金	19, 448	0. 1	-	-	都市計画税		-	-	-
使用料	149, 277	1.0	10, 470	0. 1	水利地益税等		-	-	-
手数料	62, 165	0.4	3	0.0	法定外目的税		-	-	-
国庫支出金	3, 118, 908	21.1	-	-	旧法による税		-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	合計		1, 014, 499	100. 0	-
都道府県支出金	1, 060, 347	7. 2	-	-	区分		平成22年度		7成21年度
財産収入	10, 435	0. 1	-	-	徴収率 現 合計		99. 6		98.5
寄附金	775	0.0	-	-	(04) 左 計 中町	「村民税	99. 5		98.0
繰入金	442, 897	3.0	-	-	(%) 芒   純固	定資産税	99. 6	98. 7	98.6
繰越金	251, 216	1.7	-	-				•	
諸収入	124, 851	0.8	616	0.0	公営事業等/	への繰出	国民健康	康保険事業会計	の状況
地方債	1, 955, 700	13. 2	-	-	合計		実質収支		49, 622
うち減収補塡債(特例分)	-	-	-	-	簡易水道		再差引収支		48, 622
うち臨時財政対策債	568, 200	3.8	-	-	下水道		加入世帯数(世帯)	)	1, 591
歳入合計	14, 814, 533	100.0	7, 019, 067	100.0	宅地造成	146, 354	被保険者数(人)	> #쓰 / 사이 \ 네ㅠ 및 ☆프	2, 672

公営事業等々	への繰出	国民健康保険事業会計の	り状況
合計	1, 171, 937	実質収支	49, 622
簡易水道	159, 287	再差引収支	48, 622
下水道	156, 330	加入世帯数(世帯)	1, 591
宅地造成	146, 354	被保険者数(人)	2, 672
病院	72, 371	被保険者 保険税(料)収入額	62
国民健康保険	54, 400		110
その他	583, 195	1人当り   保険給付費	292

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

			位 千円・%)			
	目的別歳		(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通廻	建設事業費	(A)のうち充	
議会費	75, 796	0.5				75, 796
総務費	4, 449, 149	31. 2		2, 159, 405		2, 042, 048
民生費	1, 694, 058	11.9		22, 616		1, 196, 363
衛生費	1, 128, 618	7. 9		39, 652		720, 226
労働費	48, 324	0.3		-		1
農林水産業費	973, 627	6.8		402, 594		599, 553
商工費	122, 142	0.9		30, 212		99, 658
土木費	720, 324	5. 1		660, 135		516, 901
消防費	422, 372	3.0		37, 055		359, 496
教育費	1, 739, 236	12. 2		1, 247, 328		625, 379
災害復旧費	314, 006	2. 2		-		72, 531
公債費	2, 575, 966	18. 1		-		2, 525, 052
諸支出費	-	-		-		-
前年度繰上充用金	-	-		-		-
歳出合計	14, 263, 618	100.0		4, 598, 997		8, 833, 004
	性質別歳	出の状況	(単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充計		経常収支比率
義務的経費計	4, 579, 436	32. 1	4, 119, 192		3, 659, 152	48. 2
人件費	1, 490, 580	10.5	1, 435, 959		1, 367, 623	18. 0
うち職員給	766, 906	5. 4	720, 226		-	-
扶助費	512, 893	3. 6	158, 184		157, 277	2. 1
公債費	2, 575, 963	18. 1	2, 525, 049		2, 134, 252	28. 1
内 元利償還金	2, 575, 963	18. 1	2, 525, 049		2, 134, 252	28. 1
訳 一時借入金利子	-	-	-		-	-
その他の経費	4, 771, 179	33. 4	3, 561, 291		2, 341, 961	30. 9
物件費	1, 409, 709	9. 9	1, 005, 481		856, 380	11. 3
維持補修費	94, 988	0.7	57, 988		55, 146	0. 7
補助費等	1, 061, 455	7.4	741, 278		599, 952	7. 9
うち一部事務組合負担金	281, 935	2. 0	281, 935		281, 935	3. 7
繰出金	1, 099, 566	7.7	1, 034, 210		830, 483	10. 9
積立金	1, 095, 461	7.7	712, 334		-	-
投資・出資金・貸付金	10, 000	0.1	10,000		-	-
前年度繰上充用金	_	-	_			
投資的経費計	4, 913, 003	34. 4	1, 152, 521			
うち人件費	237, 300	1.7	237, 300			
普通建設事業費	4, 598, 997	32. 2	1, 079, 990			
うち補助	3, 153, 163	22. 1	208, 528			
内 うた 単独	1, 398, 298	9.8	870, 260			
訳 災害復旧事業費	314, 006	2. 2	72, 531			
失業対策事業費	-	_	-			
歳田合計	14, 263, 618	100.0	8, 833, 004			
	14, 203, 010	100.0	0, 033, 004			

### (2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村) 平成22年度 広島県神石高原町 一般会計等の財政状況(単位:百万円) 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円) 他会計等から 繰入金 当該団体からの 出資金 当該団体からの 当該団体からの 補助金 貸付金 地方債 現在高 備考 純資産又は 正味財産 形式収支 実質収支 地方公社・第三セクター等名 经常损益 一般会計等 負担見込額 備考 会計名 歳入 歳出 14, 857 14, 307 1 一般会計 14, 460 1 油木特度販売 2 分収育林事業特別会計 4 神石高原農業公社 5 さんわ182ステーション 実質赤字額 14, 815 公営企業会計等の財政状況 (単位:百万円) 資金剰余額/不足額 (実質収支) 他会計等からの (実質収支) 線入金 現在高 総収益 (歳入) 総費用 (歳出) 純損益 (形式収支) をのうら 一般会計等 繰入見込額 備考 会計名 資金不足比率 1 国民健康保険特別会計(事業勘定) 2 国民健康保険特別会計(診療施設勘定 3 後期高齢者医療特別会計 1, 791 1, 770 5 介護保険特別会計(保険事業勘定) 6 介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定) 簡易水道事業特別会計 386 370 145 955 法非適用企業 254 146 農業集落排水事業特別会計 247 1,918 1, 155 **法非適用企業** - 法非適用企業 総合開発事業特別会計 達結実質赤字額 総収益 (歳入) 終損益 (形式収支) 資金剰余額/不足額 他会計等からの 企業債(地方債) 線入金 現在高 2 後期高齢者医療広域連合(特別会計) 334, 746 334, 744 2, 553 8, 437 8, 437 3 広島県市町総合事務組合 2, 285 6, 544 6, 475 福山地区消防組合 計一部事務組合等 計 地方公社・第三セクター等 36 ※地方公共団体が損失補頃等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、〇印を付与している。 公債費負担の状況 (千円・%) 将来負担の状況 (千円・%) 実質公債費比率 (千円・%) 平成20年度 平成21年度 平成22年度 分母比 平成20年度 平成21年度 平成22年度 分母比 内訳 平成20年度 平成21年度 平成22年度 分母比 満期一括償還地方債に係る年度割相当額準

	元	公営企業債の元利償還金口対する繰入金		196, 269	242, 535	220, 401	3. 7		公営企業債等繰入見込額		2, 755, 955	2, 234, 703	2, 109, 391	35. 2	国営土地	改良事業に係るもの	-	-	-	
	利信	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		7, 907	8, 133	10, 620	0. 2		組合等負担等見込額		930	711	492	0.0	債 森林総合	研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	
	湿	責務負担行為に基づく支出額 (公債費に準ずるもの)		15, 392	12, 442	12, 085	0. 2		退職手当負担見込額		1, 946, 278	1, 542, 277	1, 609, 693	26. 9	務	員等共済組合に係るもの	-	-	-	
	- W	一時借入金の利子		-	-	-	-		設立法人等の負債額等負担見込額		12, 108	6, 204	2, 548	0.0	担 依頼土地	の買い戻しに係るもの	-	-	-	
		合計	(ア)	2, 732, 651	2, 656, 488	2, 498, 808			連結実質赤字額		-	-	-	-	為 社会福祉	法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	
		内訳		平成20年度	平成21年度	平成22年度	分母比		組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	損失補償	・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	
	PI	午1事業に係るもの		-	-	-	-		合計	( <b>I</b> )	21, 168, 472	19, 015, 646	18, 536, 484		引き受け	た債務の履行に係るもの	-	-	-	
	ι	いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-	充当可能財源等	充当可能基金		2, 174, 078	2, 692, 413	3, 530, 461	59. 0	その他上	記に準ずるもの	35, 755	17, 204	17, 805	0.3
	(3	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-		充当可能特定歳入		454, 060	392, 134	344, 615	5.8		農業集落排水事業特別会計	1, 418, 797	1, 276, 449	1, 154, 580	19. 3
	慎 特	地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額		12, 499, 311	12, 007, 542	12, 381, 760	206. 9		簡易水道事業特別会計	1, 337, 158	958, 254	954, 811	16.0
	負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-		合計	(オ)	15, 127, 449	15, 092, 089	16, 256, 836		企業債等 繰入見込額	総合開発事業特別会計	-	-	-	
	行指	損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-	将来負担比率((コ	エ) - (オ)) / ((イ) - (ウ)) × 1 0 0		112.8	69. 5	38.0			病院事業会計	-	-	-	
	3	引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-									その他の会計	-	-	-	
	₹	その他上記に準ずるもの		10, 909	9,009	5, 140	0.1									地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	
	*	利子補給に係るもの		4, 483	3, 433	6, 945	0.1								公社・ 三セク等	土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	
村	準財政	y規模	(イ)	6, 946, 149	7, 227, 343	7, 559, 314		1								その他第三セクター等に係る将来負担額	12, 108	6, 204	2, 548	0.0
3	入公債	貴貴等の額	(ウ)	1, 591, 410	1, 586, 433	1, 574, 612		1												
5	母	(4) -	(ウ)	5, 354, 739	5, 640, 910	5, 984, 702		1												
9	質公債	· 費比率 (単年度	)	21.3	18. 1	14. 6														
(	ア) - (	(†))/((1)-(†))×100	-	01.0	00 F	10.0														

実質赤字比率 18. 87 35. 00 連結実質赤字比率 将来負担比率 38.0

※実賃公債費比率の((ア)-(ウ))は特定財源の額を控除している。

### (3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

### 平成22年度

### 広島県神石高原町



●当該団体値 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

5.0

10.0

15.0

0.00

10.00

20.00

11.12

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を額似団体と言う。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※ 交当可能財殖等が娯楽色均額を上回っている団体については、娯楽色切比率のグラフを実記しない

※類似団体内平均値は 充当可能財源等が採来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため 最小値を下回ることがある

※「人件書・物件書等の状況」の決算額は、人件書、物件書及び維持補修書の合計である。ただし、人件書には事業書支弁人件書を含み、退職会は含まない。

### 財政力 財政力指数 [0.23] 0.53 0.50 0.01 0.31 0.29 0.20 0.27 0.2 0.15 0.10 H22

面似用体内面积 全国平均 庆島原平均 21/51

#### 対政力指数の分析権

人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(H22年度末42.28%)に加え、町 内に中心となる産業がないことにより、財政基盤が弱く、類似団体平均を下 回っている。

一定住対策事業、工場等設置奨励事業などを推進し、自主財源の確保を図



財政権治の弾力性

全国平均 広島県平均

#### 経常収支比率の分析欄

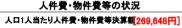
地方交付税(対前年度比7.3%)及び臨時財政対策債(対前年度比22.0%) が増額となったこと また 平成20年度から平成22年度で約18億円の繰上 償還を実施したことなどにより、公債費が減額(対前年度比△4.2%)となった ことなどにより比率が改善し、類似団体平均を下回っている。

歳入の約半分を地方交付税が占めているので、普通交付税における合併 算定替えの終了が近づき、厳しい財政状況となることが見込まれるため、引 き続き経常経費の削減に努める。



看似团体内偏位

広島県平均 123,161





#### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

合併前に各団体において整備した各種同等目的の施設が重複しており、こ の維持管理経費が多額であるうえ、施設が老朽化し修繕費が増加してきて

また、自治体面積が広くマンパワーが必要であるが、人口は年々減少して おり、類似団体平均を大きく上回っている。

多くの集会施設で指定管理者制度を導入し、施設使用料の減免基準の見 直し、冷暖房使用料の徴収を行い、受益者負担の適正化及びコスト削減を 図っている

また、財産処分を積極的に行っており、引き続きこれに努め施設に係る維



超似用体内操价 14/51

庆皇周亚的 1547

#### 李會相比率の分析機

繰上償還による地方債残高の減、普通交付税の増額に伴う標準財政規模の増、財政調 移基金及び減債基金への積立による充当可能財源の増などにより、前年度から31.5ポ イント減少しており、類似団体平均を大きく下回っている。

70 7



180

11.54

15.54

15.6

5.70

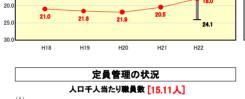
11 71

28.00

全国平均 庆島原平均 124

#### **宇宙公信着比率の分析機**

合併以前からの町債の償還経費が多額となり 類似団体平均を大きくと 回っている。公債費負担適正化計画の着実な実施により、次年度決算では 計画目標である18.0%を下回る見込み。



10.45

広島県平均

#### 人口千人当たり職員数の分析欄

定員適正化計画((H17.11策定, H22.3改定)計画期間:H17~26)にのっと り 46人の削減(H2341現在)を行ってきたものの 人口当たり職員数を類似 団体と比較すると多い状況にある。普通会計部門の職員数は、H18:193人 からH22:164人としたが $(\Delta 29)$ 、これ以上に分母となる住民基本台帳人口が H18:11.813人からH22:10.852人と減少(△961人)しており、人員削減に努め ているものの、単に数値だけを見た場合、大きな変化は見られない。

引き続き事務事業の見直し等により、本町における体制の最適化を目指 す。

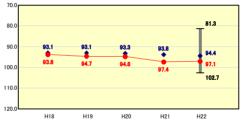




各年度における類似団体内平均値との差は、H18:0.7、H19:1.6、H20:1.5と 僅少であったが、給料削減措置を終了したことにより、H21:3.6、H22:2.7と大 きくなっている。

本町数値の推移を見ると、H20からH21は、2.6上昇している。この要因は、 給料削減措置を終了したことによるものである。

定員適正化はもとより、国の動向と近隣団体の状況を考慮しながら、給与 適正化に努める。



# (4)-1 市町村経常経費分析表(普诵会計決算)

平成22年度

広鳥県神石高原町

92

広島県平均 11.4

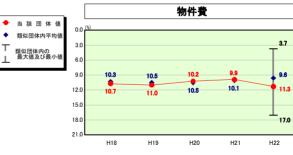
広島県平均

69.7

### 経営収支比率の分析

10.852 人(H23.3.31現在) 381.81 km² 連結実質赤字比率 総総収 14 814 533 千円 18 0 96 λ 曾公 信 曹 比 率 出 14 263 618 千円 来負担比率 38 0 96 498.253 千円 H18 TT-O H19 TT-O H20 TT-O 7.559.314 千円 H21 III — O H22 III — O 地方情现在高 14 272 914 千円

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

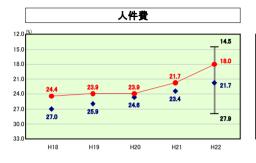


類似团体内層位 全国平均 広島県平均 128 132

#### 集件書の分析網

合併前の各団体において整備した各種同等目的の施設が重複し ており、維持管理費が多額となっている。

各施設の利用度を勘案」、住民利便性に配慮しながら指定管理 制度を導入してきているが、引き続き経費縮減を図る。



#### 類似団体内層位 全国平均

#### 人件費の分析機

今年度は大規模事業があったことで、事業費支弁人件費が増加 し、人件費に係る経常収支比率は、類似団体平均より低くなってい

- ・ 例年ベースであれば 類似団体平均を上回るため 定員適正化 計画に沿って職員数を減らすことによって人件費の削減に努める。



#### 補助書館の分析網

類似团体内層位

補助費に係る経常収支比率は、類似団体平均より低くなっている が、さらに補助金制度や補助団体の整理合理化を行うこととして いる。

全国平均 10.1



#### 類似団体内層位 7/51

全国平均 広島県平均

### 104

#### 柱助費の分析機

扶助費に係る経常収支比率は、前年度より増加しているが、類似 団体平均よりは低くなっている。



#### その他の分析機

24/51

類似团体内層位

その他に係る経常収支比率は、前年度よりやや増加しているが、 類似団体平均よりは低くなっている。

11 8

全国平均



箱似用体内箱份 公債費の分析機

44/51

合併町村、一部事務組合の地方債を引き継いだことにより地方債 残高が増加した影響で、地方債の元利償還が膨らんでおり、公債 費に係る経常収支比率は、類似団体平均を大きく上回っている。 公債費負担適正化計画に沿って、新規発行の抑制、繰上償還等 を実施していくこととしている。

全国平均

19.0

広島県平均

22.2



### 3/51 公債費以外の分析欄

類似団体内順位

公債費以外に係る経常収支比率は、類似団体・全国・広島県平均 のいずれも下回っている。いかに公債費負担が大きいかがうかがえ る。

70.2

全国平均

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



#### 人件費及び人件費に進ずる費用 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 (千円) 当該団体(円)類似団体平均(円)対比(%) 人件費 1 490 580 137. 355 104, 381 31 6 賃金 (物件費) 9. 153 8. 342 9. 7 99, 323 一部事務組合負担金 (補助費等) 220, 107 20, 283 18 487 9.7 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) 2, 242 **▲** 76.3 531 | 公営企業 (法適) 等に対する繰出し (報助員等) |公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金) | 公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金) 5, 254 2, 920 76 547 7 054 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) 237, 300 21, 867 648. 9 ▲退職金 **▲** 306, 357 **▲** 28, 230 **▲** 13 796 104 6 合計 168, 011 127, 830 31.4

_参考			
	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	15. 11	11. 71	3. 40
ラスパイレス指数	97. 1	94. 4	2. 7

#### 公債費及び公債費に進ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 ● 当該団体値 (円) ◆ 類似団体内平均値 120.000 99,734 101,246 類似団体内の 最大値及び最小値 100,000 92,172 87.616 ■ 80,471 80,000 60.000 49.604 52,466 40,000 46,955 46,740 45 336 20.000 20,156 H18 H19 H20 H21 H22

	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2, 255, 702	207, 860	101, 270	105. 3
責立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
馬期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	220, 401	20, 310	21, 126	▲ 3.9
- 部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負 旦金に充当する一般財源等額	10, 620	979	6, 185	▲ 84.2
責務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する −般財源等額	12, 085	1, 114	2, 944	▲ 62.2
-時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	24	-
▲特定財源の額	<b>▲</b> 50, 930	<b>▲</b> 4, 693	<b>▲</b> 4, 422	6. 1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	<b>1</b> , 574, 612	<b>▲</b> 145, 099	<b>▲</b> 77, 524	87. 2
<b>計</b>	873, 266	80, 471	49, 604	62. 2

(円) 500,000 450,000 400,000 350,000 250,000 200,000 150,000 100,000	•
500,000 450,000 400,000 350,000 300,000 250,000 200,000 150,000	•
400,000 350,000 300,000 250,000 200,000 150,000	•
300,000 250,000 200,000 150,000	
200,000	
	•
50,000	
H18 H19 H20 H21	H22
	値

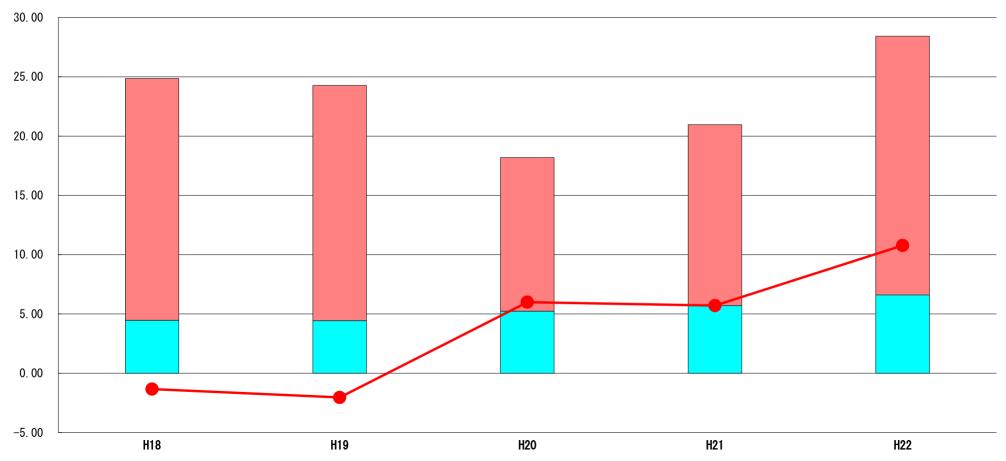
普通建設事業費							
		当該団体決算額		Y	ロ1人当たり決算	額	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H18		1, 468, 138	124, 282	<b>▲</b> 16. 7	95, 963		<b>▲</b> 14.4
	うち単独分	1, 009, 103	85, 423	3. 6	51, 372		7. 7
H19		1, 217, 906	105, 373	<b>▲</b> 15. 2	76, 581	<b>▲</b> 20. 2	5. 0
[	うち単独分	893, 112	77, 272	<b>▲</b> 9.5	43, 275	<b>▲</b> 15.8	6. 3
H20		1, 202, 880	106, 714	1.3	83, 771	9. 4	▲ 8.1
	うち単独分	988, 530	87, 698	13. 5	41, 478	<b>▲</b> 4. 2	17. 7
H21		1, 914, 948	173, 048	62. 2	127, 151	51.8	10. 4
	うち単独分	1, 328, 116	120, 018	36. 9	72, 559	74. 9	▲ 38.0
H22		4, 598, 997	423, 793	144. 9	147, 869	16. 3	128. 6
	うち単独分	1, 398, 298	128, 852	7. 4	63, 271	<b>▲</b> 12.8	20. 2
過去5年間平均		2, 080, 574	186, 642	35. 3	106, 267	11. 0	24. 3 2. 8
	うち単独分	1, 123, 432	99, 853	10. 4	54, 391	7. 6	2. 8

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成22年度

広島県神石高原町

### 標準財政規模比(%)



## 標準財政規模比(%)

				N 1 773 -27720	
区分	H18	H19	H20	H21	H22
財政調整基金残高	20. 39	19. 84	12. 95	15. 26	21. 83
実質収支額	4. 46	4. 43	5. 23	5. 70	6. 59
実質単年度収支	▲ 1.34	▲ 2.05	5. 99	5. 70	10. 77

### 分析欄

財政調整基金残高は、平成20年度から大幅に増加している。 実質収支額は、毎年黒字であり、平成19年度以降増加傾向にある。

実質単年度収支は、平成20年度から黒字となっている。

#### (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村) 平成22年度 広島県神石高原町 標準財政規模比(%) 8 00 7 00 6.00 5.00 4.00 3.00 2.00 1.00 0.00 赤字 赤字 赤字 赤字額 赤字 字 額 額 額 額 額 額 H19 H21 H22 H18 H20 標準財政規模比(%) 年度 分析欄 H19 H20 H21 H22 H18 会計 全会計ともに黒字となっている。 一般会計 4. 43 5. 23 5.65 6.57 国民健康保険特別会計 (事業勘定) 0.77 1.31 1.02 0.66 介護保険特別会計 (保険事業勘定) 0.61 0.53 0.69 0. 28 後期高齢者医療特別会計 0.04 0.58 0.24 簡易水道事業特別会計 0.12 0.11 0.20 0.21 農業集落排水事業特別会計 0.08 0.05 0.12 0.09 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) 0.03 0.04 0.04 0.03 飲料水供給施設事業特別会計 0.08 0.05 0.05 0.02

1.31

その他会計 (赤字)

その他会計 (黒字)

0.05

0.03

0.67

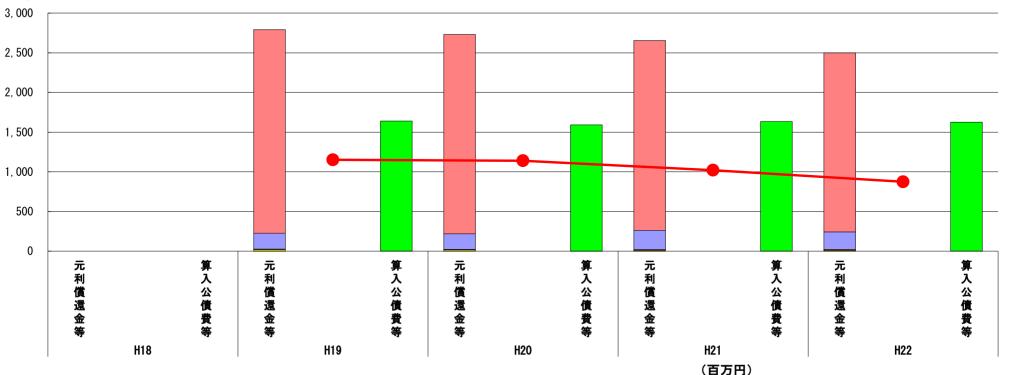
<sup>※</sup>平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成22年度

広島県神石高原町

(百万円)



						(H7313)	
分子の構造	年度	H18	H19	H20	H21	H22	分析
	元利償還金	-	2, 565	2, 513	2, 393	2, 256	質量
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	いる
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	201	196	243	220	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	_	7	8	8	11	
	債務負担行為に基づく支出額	_	19	15	12	12	
	一時借入金利子	-	-	_	_	_	
算入公債費等(B)	算入公債費等	_	1, 641	1, 592	1, 635	1, 625	
(A) — (B)	実質公債費比率の分子	_	1, 151	1, 140	1, 021	874	

### **}析欄**

算入公債費等がほぼ横ばいなのに対し, 元利 賞還金等は, 年々減少しており改善に向かって いる。

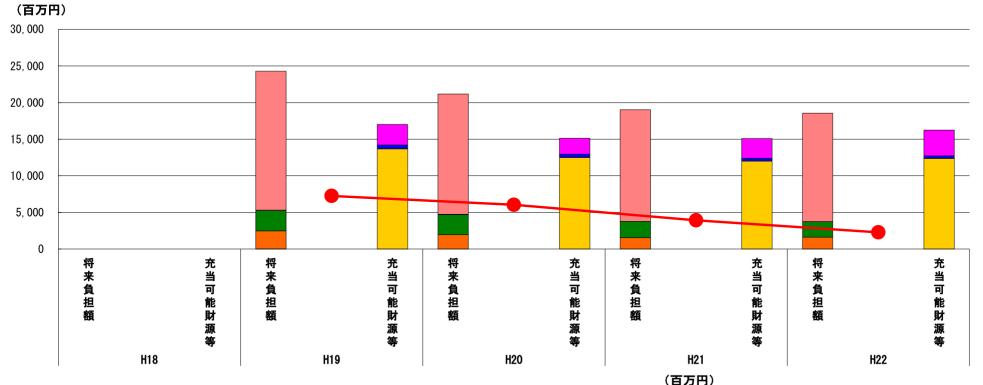
<sup>※</sup>平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

<sup>※</sup>平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成22年度

広島県神石高原町



						(0)11/
分子の構造	年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	18, 962	16, 417	15, 215	14, 797
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	59	36	17	18
	公営企業債等繰入見込額	-	2, 792	2, 756	2, 235	2, 109
	組合等負担等見込額	-	1	1	1	0
	退職手当負担見込額	-	2, 448	1, 946	1, 542	1, 610
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	19	12	6	3
	連結実質赤字額	-	-	-	-	_
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金	-	2, 817	2, 174	2, 692	3, 530
	充当可能特定歳入	_	515	454	392	345
	基準財政需要額算入見込額	_	13, 690	12, 499	12, 008	12, 382
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	7, 259	6, 041	3, 924	2, 280

### 分析欄

将来負担額は、年々減少しており、充当可能財 源等のうち充当可能基金が増加している。 これらによって、将来負担比率の分子は減少し てきている。

<sup>※</sup>平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。